

東北の真の復興に向けて

仙台都市圏の将来を考えるシンポジウム

主旨

仙台都市圏では近年、高速道路をはじめとする交通インフラ整備の進展、国際観光交流の活性化などにより、東北地方のゲートウェイとして、物流・交流拠点間の連携強化や交通結節機能の強化が求められています。このシンポジウムでは、仙台都市圏における物流・人流の現状を踏まえ、東北の真の復興に向け、仙台都市圏はどのような役割を果たすべきかについて議論を行います。

10:00 開会・挨拶

宮城県知事 **村井 嘉浩**
仙台市長 **郡 和子**

10:15 基調講演

テーマ

「仙台都市圏の物流・人流の現状と課題」 「仙台都市圏が果たすべき役割」

講師



奥村 誠

東北大学教授（大学院工学研究科土木工学専攻）

1962年生まれ、京都府出身。専門は都市間交通計画、災害時の交通。京都大学工学部、大学院工学研究科修士課程を修了。京都大学工学部助手、講師、広島大学工学部助教授を経て、2006年より現職。シベリア、ボリビアの国際共同研究プロジェクトの経験から、低密度地域の特徴を生かしつつ、災害を含めて自然環境との共生を図る「隣災」という考え方を提唱している。土木学会論文編集委員会委員長、都市計画学会東北支部副支部長を務める。

11:00 パネルディスカッション

テーマ

「東北及び宮城県の復興の現状と課題」 「東北の「真の復興」に向けた仙台都市圏が 目指すべき方向性」

コーディネーター

東北大学教授(大学院工学研究科土木工学専攻) **奥村 誠**

パネリスト
(50音順)

宮城県バス協会会長 **青沼 正喜**
東北経済連合会会長 **海輪 誠**
仙台市長 **郡 和子**
東日本旅客鉄道(株) 執行役員仙台支社長 **坂井 究**
宮城県知事 **村井 嘉浩**
国土交通事務次官 **森 昌文**

12:00 閉会

パネルディスカッション：パネリスト：プロフィール

Panelist Profile



青沼 正喜

宮城県バス協会会長

1958年生まれ、宮城県大崎市古川出身。昭和56年東北学院大学卒業後、同年、名古屋鉄道(株)へ入社。宮城蔵王観光(株)支配人などを経て、平成16年

宮城交通(株)営業部長、取締役営業本部長、常務取締役などを経て、平成25年6月より代表取締役社長に就任。同年、公益社団法人宮城県バス協会会長。



海輪 誠

東北経済連合会会長

1949年生まれ、東京都出身。東北大学法学部卒業後、東北電力(株)へ入社。上席執行役員新潟支店長、取締役副社長などを経て、2010年取締役社長、

2015年取締役会長へ就任。同年、一般社団法人東北経済連合会 副会長へ就任し、2016年6月より現職。



郡 和子

仙台市長

1957年生まれ、仙台市出身。東北学院大学経済学部卒業後、東北放送(株)入社。1997年に同解説委員、2005年に同報道制作局部長を経て、衆議

院議員へ当選。2011年には内閣府大臣政務官、東日本大震災復興対策担当大臣政務官・宮城県地対策本部長へ就任。2014年には4期目となる衆議院議員に当選し、2017年8月より現職。



坂井 究

東日本旅客鉄道(株) 執行役員仙台支社長

1961年生まれ、新潟県出身。東京大学法学部卒業後、日本国有鉄道へ入社。1987年に東日本旅客鉄道(株)へ入社し、新潟支社総

務部人事課長、人事部課長、横浜支社総務部長、総合企画本部経営企画部担当部長、財務部長、執行役員総合企画本部経営企画部長を経て、2017年6月より現職。



村井 嘉浩

宮城県知事

1960年生まれ、大阪府出身。防衛大学校卒業後、陸上自衛官に任官。ヘリコプターパイロットとして陸上自衛隊東北方面航空隊に配属。1992年に

自衛官を退職し、松下政経塾に入塾。1995年宮城県議会議員、2005年には宮城県知事選挙に当選し、現在4期目。



森 昌文

国土交通事務次官

1959年生まれ、奈良県出身。博士(工学)。東京大学工学部土木工学科卒業後、建設省入省。アメリカ合衆国連邦運輸省道路庁、建設省土木研究所ITS研究

室長、九州地方整備局福岡国道事務所長、道路局高速道路課長、道路局企画課長、大臣官房技術審議官、近畿地方整備局長、道路局長、技監を経て、2018年7月より現職。

※敬称略